

### 令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小諸ふるさと遺産認定事業
事業主体 (連絡先)	小諸市 (小諸市教育委員会 文化財・生涯学習課 文化財・生涯学習係 電話 0267-22-1700)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	688,556円 (うち支援金: 550,000円)

#### 事業内容

①後世に伝え残していきたい「小諸ふるさと遺産」を市が認定。「ふるさと遺産認定集」として冊子にまとめ各所へ配布した。

- ・応募期間：4月1日(月)～9月30日(月)
- ・応募数 32件
- ・認定数 31件
- ・認定集発行部数 500部

②シンポジウムを開催し、参加者が「小諸ふるさと遺産」を知り、理解を深めた。

- ・開催日時：11月30日(土)
- ・参加人数：パネルディスカッション50名  
ツアー(遠足)29名



【小諸ふるさと遺産 No.1901 正眼院山門「小諸城黒門」】

#### 【目標・ねらい】

- ①文化的遺産の掘り起し
- ②文化的遺産の市民認知度を向上。未来につなげる。
- ③文化的遺産を使った地域振興

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 支援金を活用して、「小諸ふるさと遺産」認定プレートを交付、設置したことにより、「小諸ふるさと遺産」の存在をPRできた。
- ② 「小諸ふるさと遺産」認定集の冊子を作成し、各所へ配布したことにより、市内小・中学生から観光客まで多くの人に「小諸ふるさと遺産」を知ってもらうことができた。
- ③ シンポジウムを開催することにより、参加者が小諸ふるさと遺産を知り、保存・継承・活用について考える機会となった。

#### ※自己評価【B】

##### 【理由】

- ・「小諸ふるさと遺産」として目標の30件を上回る31件を認定することができた。
- ・シンポジウムを開催し、「小諸ふるさと遺産」の認知度を上げることができた。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・認定された「小諸ふるさと遺産」の活用について、こもろ観光局との連携を引き続き図っていく。
- ・「小諸ふるさと遺産」保存・活用のモデル地区を設定し学習活動をすることで、小諸市全域で「小諸ふるさと遺産」を大切に守り伝え、地域の活性化に役立てる仕組みを醸成していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある